

平成 20 年度第 4 回理事会抄録

日時：平成 20 年 9 月 20 日（土） 13：00～17：30

場所：（社）日本作業療法士協会事務所 10 階会議室

出席：杉原（会長）、中村、山根（副会長）、富岡、古川、長尾（監事）、岩瀬、太田、香山、榑澤、小林（正）、早川、（常務理事）、大熊、大丸、片岡、小林（毅）、坂井、澤田、日垣、三澤、山本（理事）、石塚（部長）、土井（委員長）、関（士会連絡協議会長）

I. 審議事項

1.平成 20 年度補正予算案について（石塚財政部長）補正予算案についての説明。広報部の「5 カ年戦略のグッズの作成」の 150 万円について議論されたが、承認される。

2.規約の整備について

1) 定款施行規則の一部改定（再修正案）（宮井事務長）前回理事会で議論になった点を修正し、提出する。退会者の個人データの取り扱いに関して意見が出され、文言を検討する。→承認

2) 旅費規程の一部改定（案）（宮井事務長）旅費と同様、宿泊料についても実費を支給することとする。→承認

3) 認定作業療法士規程の改定（案）（宮井事務長）制度規程と制度規程細則に分け整理し直した。細則の一部を修正する。→承認

4) 事例報告登録規程及び関連規程の改定（案）（宮井事務長）2 つの規程を制度規程と制度規程細則に分け、「同意書」に関しては現実に即した改定を加えた。→承認

3.医療観察法省令の改正に対する要望書（案）について（香山精神障害問題担当理事）要望書案を説明。来週中に提出。→承認

4.平成 21 年度作業療法推進活動パイロット事業助成制度募集要領（案）について（大熊士会組織担当理事）平成 20 年度の募集要領から大きな変更点はない。11 月 1 日～1 月 10 日に募集。実践課題の例が研究課題と混同しやすい等の意見が出された。→承認

II. 報告事項

1.WFOT 世界会議の招致について（富岡 WFOT 代表）第 28 回 WFOT 代表者会議において 2014 年の世界会議の開催国が日本に決定した。

2.WFOT 会費値上げについて（富岡 WFOT 代表）2010 年よりの会費値上げが決定され、日本は 7600 ドル程度になる見込み。

3.訪問リハビリテーションステーション要望書の提出について（太田保険部担当理事）9 月 3 日に 3 協会で要望書を厚生労働省に提出。厚生労働省としてサービス拡充の必要性は認めるが、その方法の 1 つであるステーション創設については、医師の指示書が適切に出されるのか、従事する者の確保、経営の質等の課題が挙げられ、準備不足を指摘される。①名称の問題、②既存の民間訪問リハビリテーション事業所の問題、③本来の訪問作業療法が埋没するのではない

か、④精神科の訪問看護における作業療法の問題、⑤管理者研修の問題等の議論がされた。

4.介護報酬改定要望書の提出について（太田保険部担当理事）介護報酬改定の要望書については5団体で話し合い、1つにまとめて提出する方向だが、現段階では未調整。老健施設に関する介護報酬については全老健とともに要望していくこととなる。

5.アクティビティプログラム推進事業について（中村副会長）本事業は今年度、研修結果をもとに補助金の申請をする予定だったが、厚生労働省老健局振興課より地域包括支援センターの業務指針に関する調査研究事業の申請の中に含む形で事業の助成に該当させたほうがよいとの話があり、その方向で進めている。

6.協会活動従事会員に対する傷害保険の導入について（日垣福利部担当理事）傷害保険を来年度から導入する方向で、保険会社数社に見積りをとった上で1社に絞り込み、10月の運営会議を経て、11月の理事会に提案する。

7.平成21年度協会主要目標（案）について（土井企画調整委員長）予算作成に支障ないように早目の策定を心がけている。各部・委員会に大枠案を配信し、それに対して具体的提案を募り、11月末までに決定する予定。

8.協会事業評価の評価事業項目について（土井企画調整委員長）事業評価にエントリーされた事業について、各部・委員会より提出された事業評価表の評価計画の内容を報告。

9.学会評議委員会報告（宮井事務長）演題審査システムの仕様変更（演題審査委員が不採択と判断した演題は、不採択の理由をコメント欄に記入しない限り審査が終了できないようにする等）についての報告。

10.保健福祉部報告

1)「通所系サービスの作業療法あり方研究」報告書

2)「訪問系サービスにおける作業療法実態調査」報告書（片岡保険福祉部担当理事）平成19年度事業の報告書が完成した。機関誌「作業療法」に載せることも検討したい。

11.「臨床作業療法部門自己評価表」改定の取り組みについて（香山精神障害問題担当理事）8月号の機関誌「作業療法」に、臨床作業療法部門自己評価表改訂までの経緯を掲載した。次回のガイドラインにこれを掲載する。また、会員には年度内に改めて広報する。なお、今後の臨床作業療法部門自己評価表の検討は学術部が担当する旨の議論がされた。

12.精神障害者の退院促進および円滑な地域移行のための地域支援体制構築に向けた研究」の概要について（香山精神障害問題担当理事）平成20年度障害者保険福祉推進事業の障害者自立支援研究プ

プロジェクトの進捗状況について報告。協力病院が昨年の 5 施設から 23 施設へ広がった。

13. 渉外活動報告

（三澤保健福祉部担当理事）平成 21 年 1 月 25 日に宮城で開催予定の 3 協会主催のリハケアフォーラムについての 3 協会との交渉の報告。各協会より 60 万円ずつ 180 万円の予算。

（三澤保健福祉部担当理事）9 月 15 日 JDD ネットワークの理事会が開かれ、12 月 13、14 日に開催の JDD ネットフォーラムの概要が決まる。

14. その他

（榑澤広報部担当理事）9 月 24～26 日、ビッグサイトにて国際福祉機器展（HCR）が開催される。

（小林（正）学術部担当理事）日本医学会のメディカルパートナーのシンポジウム案を配信するので、ご意見をお送りいただきたい。

以上